



同友会の活動
はこちらの
QRコードから
ご覧いただけ
ます。▶



4

2026年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



AIを活用した 人事評価制度作成・リデザイン 2025幹部社員研修会

二月十三日(金)、群馬県公社総合ビルを会場に「2025幹部社員研修会」を開催しました。今回のテーマは「AIを活用した『人事評価制度作成・リデザイン研修会』」。評価制度を

単なる賃金決定の手段ではなく、社員の育成・成長を支えるツールへと刷新することを目指し、参加した幹部社員と経営者がともに学び合いました。

はじめに本研修会の企画趣旨と合わせて、自社事例を交えながら「人事評価の本質」を山崎委員長が講義。その後、配布された「人事評価現状分析シート」をもとに、自社の現状や課題を深掘りするワークを実施しました。参加者は、日頃の評価面談で感じる不満や評価基準の曖昧さといった違和感をシートに書き込み、評価が単なる過去の振り返りになっていないか、理念と評価が繋がっているかなどを厳しく棚卸しました。

ワークを受けてのグループ討論では「自社の人事評価に本当に必要なものは何か？」をテーマに、理念の体現や成長意欲、利益貢献など、多角的な視点から意見を交わしました。

現状分析を踏まえ、午後の実践ワークでは、AIを活用して人事評価制度の作成や再設計に取り組みました。「社員にとってほしいのか」「会社として何を大事にしたいのか」という経営者の思いや理想の社員像をAIに入力し、具体的な評価指標・行動基準へと落とし込んでいった参加者。自社の価値観や理念を反映させた「使える人事評価制度」への刷新に向けた。研修会の最後には、各社が作成した人事評価制度を発表し合い、一日を通じての成果や気づきを共有。終了後の懇親会でも、評価制度の活用法や社員の成長



支援、今後の企業づくりなどについて、活発な交流が続きました。

これまでにない形式で開催した今回の幹部社員研修会でしたが、多くの参加者から高い評価を得ることができました。今後とも共育委員会では、社員の成長と企業の変革に繋がる研修会や企画を実施していきます。ご期待ください。

社員が成長しないのは社長の責任

伊勢崎支部・埼玉北部支部合同例会

二月二十六日(木)、五州園(本

庄市内)を会場に「伊勢崎支部・埼玉北部支部合同例会」を開催しました。本合同例会は年に一度の恒例行事として、回を重ねること十五回目。「社員が成長しないのは社長の責任です。自分が変わらなないと会社は変わらない」と題して、群馬同友会・経営労働委員長を務める(有)小坂橋産業、代表取締役・小坂橋哲也氏が自身の経営体験を報告し

ました。

二〇一六年、社長就任直後の心境を「社長の仕事とは何か?不安で仕方なかった」と振り返る小坂橋氏。相談に乗ってくれた先輩経営者(田村氏)の誘いで同友会へと入会し「自分が変わらなないと会社は変わらない」という思いを強くした」と言います。その後、同世代の会員経営者をターゲットに定め、同友会活動を通じて自己変革につなげていったエピソードを紹介していききました。

特に大きな転換点となったのは、(株)山田製作所(山田茂氏/大阪同友会会員)の視察でした。社員を「絶対に裏切れないパートナー」として尊重する山田氏の経営姿勢に触れ、経営理念との向き合い方、あるいは社長としての自身のあり方を見直し、社員との信頼関係構築に向けてこれまで以上に注力していきま



す。また、財務面では高い自己資本比率を維持していたものの、ある会員から「借金がないのは設備投資をしていない証

最後に小坂橋氏は、まだまだ自身が思い描く組織には程遠い状況であることを強調した上で「社員が成長しないのは間違いなく私の責任。社長がいなくても回る会社づくりを目指していきたい」と今後の展望を語りました。

報告終了後は「あなたは会社をどう変えていきたいか?そのために自分はどう変わる必要があるか?」をテーマにグループ討論を実施。その後の懇親会を含めて、支部・県の垣根を超えた活発な意見交換や交流が図られました。

新潟・埼玉・群馬、3県 青年部合同例会を開催

青年部合同例会



青年部は、三月十一日(水)、たかさき書齋を会場に「新潟・埼玉・群馬、三県青年部合同例会」を開催しました。関東甲信越青年経営者フォーラムで繋がった隣県同士の交流を活性化

とで周囲からの助言を素直に受け入れられるようになり、それが社員との対話や経営数字の改善に繋がったという実体験は、多くの参加者の共感を呼びました。

すべく企画された本例会では、三県青年部に加え、茨城や神奈川県からも参加者が集まりました。猪又氏(新潟)、川田氏(埼玉)、周藤氏(群馬)の三県青年部長がパネラーを務め、青年部活動を通じて自身の成長や自社の変化を報告しました。特に「自分をさらけ出す(自己開示)こ

グループ討論では「自身の課題と青年部の生かし方」をテーマに、組織づくりや事業承継、右腕の不在など、同世代ゆえの共通の悩みが飛び交いました。最後は、八月に神奈川で開催される「関東甲信越青年経営者フォーラム」での再会を誓い合いました。

採用ではなく学びでつながる場

学生×企業 本音トーク



未来を感じられる経営観へ

高崎支部2月例会

二月二十四日(火)、ビエント高崎を会場に「高崎支部2月例会」を開催。県内有数の自動車販売会社を退職した元社員(現在は無職の主婦)を報告者に迎え、「未来を感じられる経営観へ」人材を育て活かす組織とは」をテーマに、優秀な社員が「静かに辞めるまで」の心の軌跡が赤裸々に語られました。

報告者はかつて、営業成績で毎年表彰され、本社人事へ異動後も成果を上げ続ける「絶対に辞めない」と思われていた人材でした。しかし、理解者であった専務の退職、自身の産休・育休、経営陣の交代を経て、組織との歯車が狂い始めます。

報告終了後は「会社で感じる心のざわつきや違和感は何ですか?人材と組織の未来を広げるために明日から何ができますか?」をテーマにグループ討論。「良かれと思った配慮が、実は社員の可能性を奪っているかも」「優秀な人材ほど日頃のコミュニケーションが疎かになりがち」「ビジョンのない経営に社員はついてこない」など、活発な意見が交わされました。

青年部は三月十八日(水)、共愛学園前橋国際大学を会場に学生×企業「本音トーク会」を開催しました。本イベントは「学生×企業×地域」が継続的につながり、未来をともにつくることを目指し、二〇二一年から継続的に開催しています。

として登壇し、(有)中島イーディーエム・専務取締役、中島純貴氏(太田支部)がファシリテーターを務め、就職までのプロセスをそれぞれの視点で紐解いていきました。

報告の後には、参加した会員経営者と学生が四グループに分かれて意見交換を行い、これから就職活動を迎える不安や疑問点へのアドバイス、経営者が学生をどう見るかなど、多岐にわたる本音トークが繰り広げられました。

今回のテーマは「学生時代の対話が、就職につながった日」を選ぶ側・選ばれる側のリアルな本音トーク」と題して、五州園(株)、代表取締役・萩原隆史氏(前橋支部)と、同社への就職が内定している学生がパネラー

決定的な離職の要因は「評価の座標」が見えなかったことにありました。幹部間で揃わない方向性、現場に翻訳されない決定事項、そして、評価されるのは「従順さ」であるという現実。報告者の「期待に応え続ける意味が消えてしまった」という言葉は、特に参加者の胸に深く突き刺さりました。



[埼玉同友会会員]

50年分の在庫処分
アウトレットセール開催
 モールディング・タイル・ピューラ・他

玉川工場 現地販売
 ▶埼玉県比企郡ときがわ町大字五明591

0493-65-2121
 受付：月曜～金曜日 / 10:00～16:00

応募フォーム
 来場予約はこちら
 tamagawaoutlet@mihasi.co.jp
 メールでも24h受付中!

未来の仲間
魅力が伝わる
メッセージを

Que Project inc.
 合同会社キュー・プロジェクト

▶リクルーティングプランニング
 ▶デザインツール制作
<https://que-project.co.jp>

見えない生産性へのアプローチ

前橋支部2月例会

前橋支部では、二月十八日（水）、アメイジンググレイス前橋を会場に支部例会を開催。「見えない生産性へのアプローチ」と題して、(株)エステイビー、代表取締役・杉崎由里氏（代表理事／伊勢崎支部）が、自社の人材育成と共同求人活動を背景に報告を行いました

冒頭、曖昧な指示がミスコミュニケーションで社員自身の責任感や改善意識が向上した事例も紹介。その成果の一つとして「無災害継続二〇年超」という実績が挙げられました。

グループ討論は「中小企業が行う有価な社会貢献」をテーマに進められ、事業継続そのものが社会貢献であるとの原点を確認しつつ、自社の存在意義を地域にどう根ざしているかを深め合いました。



今こそ学ぼう、お金の本質

沼田支部2月例会



沼田支部では二月十七日（火）、利根沼田文化会館を会場に二月例会を開催しました。政治活動家の大西つねき氏を講師に迎え、「今こそ学ぼう、お金の本質」をテーマに、現代の金融システムの仕組みと、その先にある社会の在り方について学びました。

大西氏は、お金が融資によって生み出される「信用創造」の仕組みを詳しく解説。世の中にあるお金の大部分は誰かの借金であり、「政府の赤字は国民の黒字」という表裏一体の関係にあることを説明。また、利息の支払いのために無限の経済成長を強いる現在のシステムが、環境破壊や格差拡大の根本原因であると指摘したうえで、真の財源は「お金（数字）」ではなく「人の時間と能力」であることを強調し、お金の囚われず自律的に生きることの大切さを訴えました。

報告後は、質疑応答の時間が設けられ、参加者の多様な立場から「自分たちに今できることは何か」という問いが投げかけられ、大西氏は「一人ひとりが自分の基準で判断し、自由意思で行動することが社会を変える」と答えました。

例会のまとめでは、座長の金子氏が「自分の頭で考え、どう感じるかという本質的な学びを得られた」と締めくくりました。

『同友ぐんま(通常号)』 広告募集

【広告料】2万円（一口×6回掲載）
 【スペース】縦44mm×横87mm（一口分）

*掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬中小企業家同友会・事務局
 TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせて自由設計、コスト削減（事務所、店舗、倉庫、他）
 プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2
 TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102
 URL <http://kk-sanei.net/>

町工場を変える AI多能工の衝撃

富岡安中支部2月例会



富岡安中支部では、二月十二日(木)、富岡市生涯学習センターを会場に支部例会を開催。日栄工業(株)、代表取締役・守口智氏を迎え「町工場を変えるAI多能工の衝撃」と題して、生成AIを活用する自社での実践報告と実際に触れてみるワークショップを行いました。

守口氏は、AIを単なる「ツール」ではなく、総務や人事などの「役割を持つ人」として扱う重要性を説明したうえで、元SEの知見を活かしAIと作成した生産管理システムの導入により、仕掛在庫ゼロを実現した事例を紹介しました。「経営者の現場知識がダイレクトに業務改善に直結する時代になった」と語る守口氏の言葉が、AIへの関心を強く引き寄せました。

後半のワークショップでは、「役割・指示・前提・形式」の四要素を盛り込むプロンプト術や、経営判断を深める「壁打ち」の手法を実践しました。「AIは蒸気機関以来の産業革命である」と語る守口氏。最新技術を自社の未来のためにどう使いこなすか、経営者の「判断」の重要性を再確認する機会となりました。



循環型給食が都市開発に！

桐生みどり支部2月例会

二月十九日(木)、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生みどり支部2月例会」を開催しました。報告者は、同支部所属の日本ゼウス工業(株)、常務取締役・田中光太郎氏。「循環型給食が都市開発に！創造が社会を動かす」と題し、三年前の報告から進化を遂げた現在までの道のりを語りました。

桐生市内の学校給食の残渣(食べ残し)を肥料化し、その肥料で育った農作物を再び給食として提供する「循環型給食」の取り組みは、現在、みどり市へも拡大しています。

さらに、この循環モデルは県内の枠を超え、東京・丸の内における都市開発プロジェクトへと飛躍。大手企業との連携により、オフィスビルから出る食品残渣を肥料化し、屋上庭園などで活用する同プロジェクトは、表彰を受けるなど高く評価されていることが報告されました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム
 充実した設備と長年培った確かな技術力で
 お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
 TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
 URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

◎お気軽にご相談ください。
 他中小コンベンションも多数あります。
5ビッグコンベンション
 ◎他県からも便利な磯部温泉 東京よりJRで1時間◎
会議⇒温泉⇒宴会⇒宿泊⇒会議
 スクール形式 最大700名可能

QRコード
 大会場
 ホテル磯部ガーデン TEL.027-385-0085

人が育つ組織をどうつくるか

渋川吾妻支部2月例会



二月二十日(金)、渋川公民館を会場に「渋川吾妻支部2月例会」を開催。中之条エリアを中心に介護福祉事業を展開する(株)Pure Next、代表取締役・塚田純次氏(渋川吾妻支部)が「人を育てるのではなく、人が育つ組織」をどうつくるかをテーマに、自身の経営体験を報告しました。

かつて塚田氏は「社員の要望を何でも聞くのが社長の仕事」だと勘違いし、結果として「組織崩壊寸前の状態を招いた」と言います。その苦い経験を踏まえ、紹介された書籍をきっかけに「エンパワメント型人材育成」への挑戦を開始。組織の土台をつくる三つの鍵(情報共有・境界線の設置・セルフマネジメント)について説明した上で、自社での取り組みを成功や失敗も含めて紹介しました。

経営者にとって最大の修行は「待つこと」であると強調する塚田氏。自身の経営姿勢が社員の成長を妨げていたことを反省し、最後に「人が育つ環境を泥臭く整え続けるのが私の役割」と語りました。

報告後は「どのような人材育成に取り組んでいるか」をテーマにグループ討論を実施。「挨拶や感謝など、当たり前をやり続ける」「○○○社あれば○○○通り。それぞれの会社に合った組織づくりが大事」など、活発な意見が交わされました。

支部長として歩んだ四年間

太田支部2月例会



太田支部では、二月二十六日(木)、テクノプラザおたを会場に、支部例会を開催しました。(有)神保商会、専務取締役・神保豊氏(太田支部長)が「支部長として歩んだ4年間」これ

り返りました。財務分析を通じて社長(実兄)の戦略を深く理解し、絶対的な信頼関係を築けたことが最大の収穫だったと語りました。

が私の生きる道」と題して実践報告を行いました。

神保氏は、支部長就任後の支部方針作成時に直面した「経営理念のない自社」への葛藤や、支部例会での「自己資本比率不透明事件」など、自身の弱みを赤裸々に語る中で「真の経営課題は自分自身だった」という気づきから「経営指針をつくる会」へ参加し、苦悩しながらも理念の成文化に取り組んだ日々を振

「できないからやるのが同友会」という言葉を胸に、学び続ける神保氏は、ナンバー2として社長を支え続ける決意を訴え、一歩踏み出す勇気の重要性を伝えました。

その後のグループ討論では、「自社の経営に真剣に向き合えていますか?」をテーマに、家族経営における仕組みづくりの必要性や人材育成について、熱気溢れる意見交換が行われました。

「できないからやるのが同友会」という言葉を胸に、学び続ける神保氏は、ナンバー2として社長を支え続ける決意を訴え、一歩踏み出す勇気の重要性を伝えました。

限りある資源を、次世代へ。

株式会社エスティビー
Zero Emission Stability Topline Business, Co., Ltd.

経営理念「絶やさぬために」
私たちは、総研・静脈の循環型物流力で、人と社会の生命活動を支え続けます。

住所 平379-2123 群馬県前橋市山王町1-19-14
連絡先 TEL: 027-212-3312

面倒な会計業務はお任せを!!
電子帳簿保存法・インボイス制度対応の簡単クラウド会計

統合型クラウド財務管理システム

KEEPERClub

同友会 高崎支部会員 株式会社 シスプラ ☎ 0120-638-377

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【特殊詐欺 AIで疑似体験】

(株)タカラコーポレーション

生成AIを活用して特殊詐欺の手口を疑似体験してもらう講座が大泉町の大泉署(林衛署長)で開かれた。同署関係団体のメンバーら75人がロマンス詐欺や投資詐欺の実例に基づくスマートフォン上のやりとりを体験し、被害防止に向けて気を引き締めた。

携帯電話販売などを手がける(株)タカラコーポレーション(常務取締役・榎本太平氏/太田支部所属)の社員が講師を務めた。スマホに「私たちとの未来のために投資という選択肢がある」「あなたが詐欺の容疑者になっている。逮捕状の画像を送る」といったメッセージが送られ、参加者はアプリのインストールや送金に誘導される流れを体感した。

[2/25付上毛]

【板碑から桂萱の歴史探る】

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学(学長・大森昭生氏/前橋支部所属)の地域連携講座「上毛を学ぶ」が、前橋市の桂萱公民館で開かれた。埼玉県埋蔵文化財調査事業団の村山卓さんが「群馬県の中世石造物と桂萱地区」と題して講話し、受講者約20人が耳を傾けた。

[2/28付上毛]

【SDGs実践活動例を紹介】

(株)群馬クレインサンダーズ

持続可能な開発目標(SDGs)について学んでもらおうと、太田市が拠点のプロバスケットボールチーム、群馬クレインサンダーズ(代表取締役・阿久澤毅氏/太田支部所属)は28日、同市の商業施設、イオンモール太田で「ONGAESHI(恩返し)DAY」を開いた。買い物客らが関連団体の活動報告やワークショップなどを通じ社会課題への理解を深めた。

同チームと協力してホーム戦会場で活動するぐんま国際アカデミー(GKA)生徒の団体「イエロー・フォー・ザ・フューチャー」と県赤十字血液センターが活動報告した。中村拓人選手のトークショーやスポンサー企業5社によるワークショップもあった。

[3/1付上毛]

【上電23駅の魅力紹介】

しのめ信用金庫

しのめ信用金庫(理事長・横山慶一氏/富岡安中支部所属)は2日までに、上毛電鉄(前橋市城東町)と連携して、同鉄道の全23駅の魅力を紹介するポスター25種類とブックレットを製作した。地域のにぎわい創出や情報発信を目的に、県内のデザイナーやクリエイターが完成させた。

同市の同信金前橋営業部ビル内の「つどにわホール」で27日、記者会見を開いた。ポスターは沿線にある食堂や古道具店、公園など各駅の魅力が伝わる写真を大きく使ってレイアウトした。興味を引く説明文も添えた。地域住民に取材したり、実際に足を運んだりする中で被写体を選定。中央前橋駅などに張り出すという。

[3/3付上毛]

【次世代経営者塾 13人が新プラン発表】

しのめ信用金庫

しのめ信用金庫(理事長・横山慶一氏/富岡安中

支部所属)は、主催する「次世代経営者塾」の最終報告会を前橋市の同信金前橋営業部ビル内「つどにわホール」で開いた。県内の20~50代の経営者や後継者計13人が参加し、新たなビジネスプランや事業承継に向けた計画を発表した。

同講座は昨年10月から全7回の日程で開催。参加者は座学やグループワークを通して、財務諸表の分析方法からデジタル戦略、知財活用まで幅広い分野の経営ノウハウを学んできた。

最終報告会では、講座で学んだことを踏まえ、会社を継いだら実現したい中長期の経営計画や新たに挑戦したい事業の構想を披露した。

[3/10付上毛]

【286人が夢へ 新たな一歩】

中央カレッジグループ

中央カレッジグループ(代表理事長・中島利郎氏/前橋支部所属)が運営する5専門学校の合同卒業式が11日、同市の昌賢学園まえばしホールで開かれ、計286人が新たな一歩を踏み出した。

中島慎太郎理事長は式辞で「社会に貢献し、必要とされる人材として成長することを願っている。入学時に抱いた夢や目標を決して忘れることなく、長く活躍してほしい」と呼びかけた。

[3/12付上毛]

【希望を胸に一歩】

新島学園短期大学

新島学園短期大学(学長・高山有紀氏/高崎支部所属)の卒業証書・学位記授与式が18日、高崎市文化会館で開かれた。キャリアデザイン学科とコミュニティ子ども学科の計98人が、希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

賛美歌を歌い、聖書が朗読された後、高山有紀学長が卒業生一人一人に学位記を手渡した。「この短大での日々が皆さんの心のよりどころとなるように願っている」とエールを送った。

[3/19付上毛]

【内装業支援で新情報誌】

(株)ホシケン

インテリア資材卸の(株)ホシケン(代表取締役社長・星野貴洋氏/前橋支部所属)は今年1月、内装職人向けの無料情報誌「貼り人通信」を創刊した。内装業界の動向や最新商品、サービスに関する情報を関係者に広く伝えることで、内装作業の質の向上のほか、取引先との関係強化、新規顧客の開拓につなげる。

貼り人通信は、A5サイズで表紙を含めて8ページ。現場目線を重視した内容で年4回発行を予定する。本県など北関東の内装職人や施工会社らを中心に約2千部を配布する。現場作業の合間にスマートフォンで閲覧できるよう、フリップブック形式の電子版も作製した。

[3/19付上毛]

【会員登録変更】

上武印刷(株)、代表取締役・横堀孝氏(高崎支部所属)では、この度、「代表取締役・藤原出氏」に会員登録を変更しました。

【所属支部変更】

ことごとくッキング、主宰・小崎ますみ氏(高崎支部所属)は、この度、「富岡安中支部」に所属支部を変更しました。

第11回 理事会報告

日時 三月三日(火)

※今回も同友会事務所とオンライン併用のハイブリッド開催となりました。

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事/町田、杉崎、阿久戸、佐藤、小林、理事/小坂橋、山崎、提箸、石原、神保、周藤、齋藤、諏訪、平野、池沢、小池、茂原、石井、岡田、関口、小柴、事務局/阿久澤、竹内(役員計二十一名)

【議事】

小林副代表理事が議長をつとめ、町田代表理事挨拶のもと、第十一回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の案内報告

各組織担当者より、活動報告や今後の計画、依頼事項などがありました。

II. 審議・承認事項

1. 入会案内パンフレットリニューアルについて

入会案内パンフレットリニューアルおよび制作委託先について、広報メディア戦略委員会より提案があり、各理事からの意見等を踏まえて継続審議となりました。

尚、同委員会は、改めて委員会内容を検討し、再度理事会に提案することとなりました。

2. 第五八回中同協定時総会in静岡の分科会設置について

七月に開催される「第五八回中同協定時総会in静岡」の分科会設置について、群馬同友会(共同求人委員会)に打診があったことが関口理事から報告され、これを承認しました。

また、分科会の報告者は、エスティビー・杉崎氏と長野大学・飯塚氏、座長はマルニ精機・関口氏が担当することも合わせて確認しました。

3. 第五四回定時総会の開催概要について

第五四回定時総会の開催概要・講演テーマ等の確認と合わせ、先月末の講師訪問(有エターナルコーポレーション・永岡氏/茨城同友会)について総務会から報告がありました。

4. 新年度スローガン・重点方針・部門方針案の決定について

※この後の意見交換にて

5. 今年度活動報告案の決定について

二〇二五年度の活動報告案が総務会・事務局から提案され、これを承認しました。

6. 入退会者承認と仲間づくり推進について

前回理事会以降の入会者二名、退会者二名を承認。会員数は五〇四名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換

前回理事会までの意見交換を踏まえ、再検討したスローガン・重点方針案が総務会から提案され、これを承認しました。また、部門方針案については、各組織担当者からの説明・提案、各理事からの質問などを踏まえ、これを承認しました。

2. 次回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催することが確認され、議長は小林副代表理事が担当することになりました。

■日時/四月七日(火) ■会場/同友会事務所 + ウェブ(併用)

新会員ご紹介

3月度常任理事会承認 会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

(有)遠藤プレス

〒374-0015 館林市上赤生田町3570 TEL: 0276-72-2294 FAX: 0276-75-2928



取締役 遠藤 汰 H8年生

太田支部

RAISE DESIGN

〒370-0313 太田市新田反町584-1 TEL: 0276-58-2968



代表 塚越 健太 S52年生

太田支部

館林にてプレス加工を中心に営業させて頂いております。同友会での学びを自社に生かし、自己成長と会社の成長を目指します!まだまだ未熟者ですが、どうぞ宜しくお願い致します。

ホームページ制作・運営・保守、web広告・チラシ作成、動画作成 サッカー 【紹介者/中島純貴】 レイズデザインの塚越と申します。ホームページ制作・運営、Web広告などをメインにおこなっております。デザインを「伝えるための道具」として、企業やサービス、商品などの魅力を伝えるお手伝いをしています。同友会では、異業種の皆様の視点や経営学など学ばせていただければと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

環境を思う、未来を想う あらためて誓う 上武印刷

Advertisement for Utsunomiya Printing Co., Ltd. (上武印刷株式会社) featuring environmental benefits and contact information. Includes text: 「水なし印刷」システム, オンデマンド印刷, 私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。 群馬県環境GS認定事業所



上武印刷株式会社

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/

